

平成22年5月23日(前線)における 野村ダムの洪水調節効果について

平成22年5月22日から、野村ダム流域平均総雨量200mm(時間最大17mm)の降雨がありました。この洪水に対して、野村ダムでは洪水調節を行い、下流の水位低下を図りましたのでお知らせします。

平成22年 5月27日

国土交通省
四国地方整備局
野村ダム管理所

問い合わせ先

国土交通省 野村ダム管理所

管理所長／^{みやもと}宮本 ^{まさし}正司 (内線201)
管理係長／^{かさい}笠井 ^{かずお}和夫 (内線332)
TEL／0894-72-1211

平成22年5月23日(前線)における野村ダムの洪水調節状況

●平成22年5月23日(前線)洪水の概要

5月22日深夜から、野村ダム流域では雨が降り始め、5月24日8時までには流域平均累計雨量が200mm、時間最大流域平均雨量17mm/s(5月24日2時～3時)を観測しました。

●野村ダムでの洪水調節効果

肱川水系肱川においては、野村ダムで $38.74\text{m}^3/\text{s}$ (最大流入量 $334.94\text{m}^3/\text{s}$ →放流量 $296.2\text{m}^3/\text{s}$)を調節。
約 $180\text{千}\text{m}^3$ の洪水を貯留。
下流荒瀬地点での水位を18cm低減。

野村ダム諸元(非洪水期)

総貯水容量 : $16,000\text{千}\text{m}^3$
洪水調節容量 : $800\text{千}\text{m}^3$
利水容量 : $11,900\text{千}\text{m}^3$
堆砂容量 : $3,300\text{千}\text{m}^3$

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もあり得ます。

